若松本町歩道橋エスカレーター（ES）エリア別計画

1　設置個所

2　施設の状況

- 本歩道橋のエスカレーター（ES）は、平成12年（2000年）、若松A地区市街地再開発事業に伴い、市道本町小竹1号線の両側に建つ再開発ビルとも連絡する歩道橋として整備。
- 歩道の両側に上りのみのエスカレーター（ES）計2基を設置している。

番号	種別	メーカー	設置年	幅（m）	高さ（m）	形式
1（西側）	ES	日立	2000	0.6	5.67	屋外型
2（東側）	ES	日立	2000	0.6	5.67	屋外型

3　施設の利用状況（12時間）

- 平成27年10月・11月に実施した調査では、エスカレーターの利用者は平日のアネックス側（東側）が多く、12時間で301人が利用している。。
- 時間帯では11時がピークで75人、午前中の10時から11時の時間帯の利用者が多い。

番号	平日	休日	基本方針	割合
1（西側）	130人	101人	800人/12h 以下	0.16
2（東側）	301人	257人	800人/12h 以下	0.38

※令和6年7月より現在に至るまで故障停止中のため利用不可となっている。

4　維持管理経費の実績（千円／年間）

- ESの維持管理は、メーカーに日常点検を委託し、月に1度、施設の安全点検を行っている。この点検で異常があった場合に修繕を行っている。
- 令和6年7月ESの踏段及びローラーの故障し修繕には17，685千円かかる見込み。
- ESの耐用年数も近づいており、新品に改修した場合、約100,000 千円が必要となる。

項　目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
日常点検	1,642	1,657	1，657	1，657	1，657	1，742
電気料金	200	200	200	200	200	200
修 繕 費	7,040	7,920	0	0	0	（17，685）

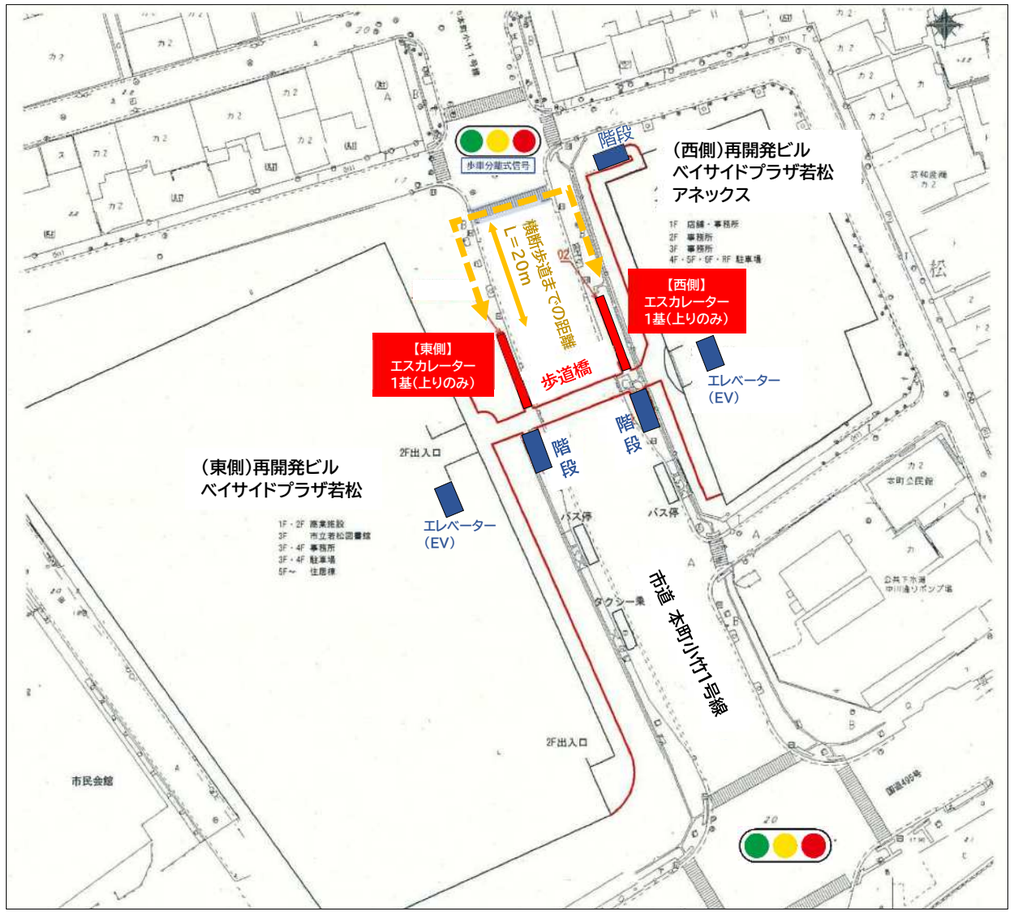
5　昇降施設の見直しフローに沿った検討

（1）利用者（12h 交通量）は平日301人、休日257人であり、個別施設計画で定める 800人以下（平日 0.37、休日0．32）である。
（2）近隣にバリアフリー動線が確保できるエレベーター（EV）がある。
（3）エスカレーター（ES）と階段が併設されている。

→

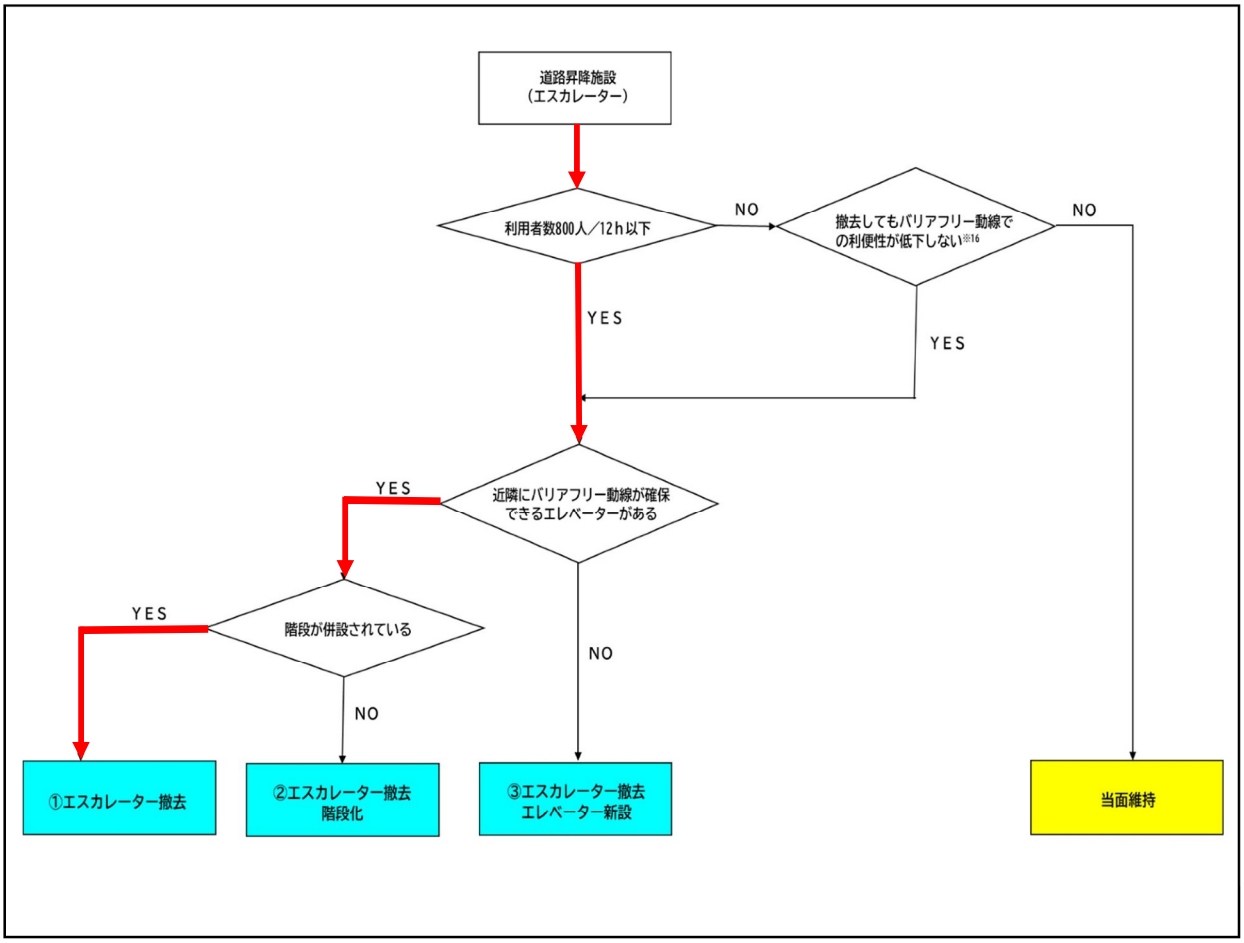
【基本方針】
エスカレーター（ES）撤去可

6　対象施設周辺の状況



7　エリア別計画及び今後のスケジュール

- 個別施設計画（基本方針）に定める検討フロー結果に加えて
  ① バリアフリーの観点から近接して信号交差点が併設され、移動経路が確保できること
  ② 歩道橋と連絡する再開発ビルの利用可能な時間は、施設内のEVが利用できること
  ③ 今後見込まれる修繕や改修にかかるコスト大きいこと
  ④ 令和6年7月より故障により利用不可としているが再開を望む意見等ないこと
  総合的に判断して、本エスカレータ（ES）は撤去するものとする。
- 今後のスケジュール

年　度	令和6年度	令和7年度
実施内容	地元周知、関係機関調整	実施設計、撤去工事

道路昇降施設の見直しフロー図